

スピンを利用した量子技術の最前線

- 量子デバイス開発から新材料探索まで -

2021. 3. 18 (木) 13:30 ~ 17:25 オンライン (会場: Z07)

量子技術は将来の産業・社会に変革をもたらすことから世界的に研究開発競争が加熱しています。本シンポジウムでは、スピンを利用した量子技術をテーマとして、量子コンピュータ等のデバイス研究から、量子センシング・新材料探索まで幅広いトピックを対象とし、最新動向や今後の展望について議論します。皆様のご参加をお待ちしております。

招待講演

宇佐見 康二 (東大)

マグノンと超伝導量子ビットと光とダークマター

大岩 顕 (阪大)

量子ドットを使った光子とスピンをつなぐ量子インターフェースの研究

阿部 英介 (理研)

ダイヤモンドNV中心を用いた核スピン検出と制御

小寺 哲夫 (東工大)

半導体量子ビットの研究動向と展望

林 将光 (東大)

スピン流材料開発の進展

有田 亮太郎 (東大)

第一原理計算による磁性熱電材料の探索

佐藤 宇史 (東北大)

高分解能ARPESによるトポロジカル超伝導材料の探索

企画: 応用物理学会スピントロニクス研究会 <https://annex.jsap.or.jp/spintro/>

世話人: 揖場 聡 (産総研)、伊藤 公平 (慶応大)、小野 輝男 (京大)、関 剛斎 (東北大)、野崎 隆行 (産総研)、三輪 真嗣 (東大)、柳原 英人 (筑波大)